

第 47 回 島根県生活協同組合連合会 通常総会 特別宣言



SDG s 達成に向けエシカル消費を推進します



SDG s（エスディーゼズ：持続可能な開発目標）は、2015年、国連に加盟する全ての国々（193カ国）が「今、全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、発展途上国・先進国に関わらず、世界中の全ての人々が目指すべきゴールです。“誰一人取り残さない”社会の実現を目指して2016年1月をスタートとし、2030年までに、今、生きている人々だけでなく何世代も先の人々が、この地球で人間らしく暮らし続けられるための必要な17の目標が掲げられ、その達成のための取り組みが世界で進められています。

私たち生協は、これまで以上に様々な事業や活動の分野において、SDG sの実現を念頭に置いた取り組みをさらに進めていくことが求められています。特に、SDG sの17の目標を実現するための重要な手段がエシカル消費です。

エシカル（Ethical）とは、直訳すれば「倫理的」という意味ですが、買い物をするときに自分視点（例えば、おいしい、安い、便利など）だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費（買い物）のことをエシカル消費と言い、生協では「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現します。具体的には「豊かな地域を作りだせたら」「地球の環境を守り続けることができたなら」「公正な社会の仕組みを作りだせたら」「人々の“生きる”を支えることができたなら」という4つの「エシカル」な視点をプラスするということです。そういう視点でお買い物をすることによって、未来へ続く持続可能な社会の実現につなげていきます。

そのためにも、一人ひとりが自分に置き換え、自分事として何ができるか考え、“観客ではなく選手”として今すぐにでも行動に移すことをここに誓い、総会宣言とします。

「我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代になるかも知れない。我々がこの目的に成功するのであれば 2030 年の世界はより良い場所となるであろう」

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」より抜粋

